上一放

（別紙３）

公表　放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	アップル上汐			
○保護者評価実施期間	2024年　10月　1日	～	2024年　12月　31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	27人	（回答者数）	20人
○従業者評価実施期間	2024年　10月　1日	～	2024年　12月　31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	14人	（回答者数）	9人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年　1月　20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援から小集団での活動を取り入れている	・個別スケジュールの作成、スケジュールは視覚化しており、1人で確認して次の行動にうつることができるようにしている ・SSTプログラム（個別、集団） ・本人の好きなことや得意なことをスケジュールに取り入れ、個別で支援しながら伸ばしていく ・子どもたち同士で関わりコミュニケーションを学ぶ	・急な予定の変更や追加などに対応できるよう個別スケジュールで工夫していく ・SSTプログラムについてスタッフ全員からアイデアを出してもらい参加してもらう ・学んだことを別の場所、人でもできるよう汎化させていく
2	運動、工作、お絵描き、おもちゃ、絵本、パズル、自立課題など豊富な教材を取り揃えており、活動内容も充実している	・活動場所も視覚支援を用いており、個別スケジュールのカードと合わせて床の色を変えている（何をどこでするかわかる） ・各活動場所では何をするかを自己決定していただいている ・遊びながら成長に繋げていける内容の教材やおもちゃを取り揃えている	・定期的に活動内容の見直しを行い、使っていない（子どもたちが選んでいない）ものは処分し、新しい物を取り入れる ・修理等が必要なものについて、迅速に対応する
3	室内活動だけではなく、野外活動にも力を入れている	・近くの公園やお散歩などは平日でも活動に入れている ・(土)や長期休暇は、科学館や図書館などの公共の施設を利用したり、プール、カラオケ、映画、いちごやみかん狩り、アスレチック、室内遊技場など、様々な外出に出かけている ・卒業生を中心に卒業イベントとしてUSJに行っている	・もっといろんな活動ができたり、遊べたり、学べたりする外出先を見つけ、考えていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の場の活用や地域住民（子ども）との関わり	・(土)や長期休暇、学校休校日などには公共施設や公園、店舗の利用等、地域との交流が図れているが、地域の子どもたちとの関わりが少ない	・今よりもっと地域のイベント等への参加を増やしていく ・平日においても、可能な限り（下校時間が早い等）公共施設を利用し地域の場の活用や地域の方との交流を増やしていく
2	きょうだい児が参加できるイベントがない	・利用児童の日々の対応、支援、企画を行っているが、そこにきょうだい児が参加できるようにすることへの、人員確保、安全管理 ・障がい児と健常児が楽しく遊べる場所やイベントに、ずれが生じるのではないか	・現在行っている、マラソン大会や外出イベントの際に、きょうだい児も参加できるように企画、調整を行う
3			